



開催報告：地域活性化フィールドワーク in 会津 ～わたしたちの“やってみたい”をかなえる地域づくり～

- ・福島県では、地域と関わる様々な方との連携により、住民が主役の個性と魅力あふれる地域づくりを目指し、地域・人材つながり新事業に取り組んでいます。この取組の一環として、身近な地域活動の見学や住民同士の交流等による地域づくりの機運醸成を目的に「地域活性化フィールドワーク」を、浜通り・中通り・会津の3方部で行っています。
- ・会津での開催となる今回は、湯川村勝常区で、地域の歴史、文化、景観等を生かした地域づくりに取り組む「勝常区活性化対策委員会」を訪問しました。
- ・冒頭では、取組に至った背景や思い、地域の方々との関わりについてお話いただき、その後のワークショップで参加者の方々の学びの深掘りと共有を行い、最後に参加者から勝常区活性化対策委員会への「勝手アドバイス」を行い、双方に実りある内容となりました。

開催概要

日 時：令和7年11月17日（月）10:30～15:30
会 場：勝常公民館
（河沼郡湯川村大字勝常字代舞1762）
講 師：宇都宮大学地域デザイン科学部教授 石井 大 一 朗 氏
勝常区活性化対策委員会 代表 兼子 光右 氏
内 容：①勝常区活性化対策委員会の取組説明および現地視察
②グループでの意見交換、学びの共有、勝手アドバイス
参加人数：26名（自治会・協議会、地域づくり団体、NPO、地域おこし協力隊、
集落支援員、自治体職員等）
主 催：福島県企画調整部地域振興課

参加者の感想（抜粋）

- ・地域づくりに取り組む方のお話を伺うことができ、貴重な体験等ができて良かった。
また、地域における協力体制の構築の難しさも実感できる良い機会だった。
- ・地域づくりで大切なのは「主体づくり」だと実感できる良い機会となった。
しかし、うまくいっているところとそうでないところがあるため、改めて継続的な地域振興の難しさを感じています。
- ・補助金終了後の自走化や、補助金活用時の自走化に向けた準備等について、学ぶ機会があると良いと思います。
- ・計画を10年スパンで考える、一生懸命にやっているとついてくる人が現れる、女性目線の大切さ、人が気楽に意見交換できる場所をつくる、など、印象的なお話を聞くことができました。

<フィールドワークの様子>



<グループワークの様子>

